

令和 7 年度第 3 回 稲沢市地域公共交通会議 会議録

【日 時】 令和 7 年 1 2 月 2 4 日（水）

午前 1 0 時から午前 1 1 時 3 0 分まで

【場 所】 稲沢市役所 2 階 政策審議室

【出席委員数】 1 5 名（欠席者：4 名）

【傍聴者数】 2 名

【議事次第】

1 あいさつ【会長】

2 議事

報告事項（1）稲沢市地域公共交通について

（2）「コミュニティバス運行事業に関する調査」の自由記述欄について

協議事項（1）パブリックコメント募集結果について

（2）「稲沢市コミュニティバス運行事業計画」変更について

【議事内容】

2 議事

報告事項（1）稲沢市地域公共交通について

- 資料番号 1 に基づき、コミュニティバス、コミュニティバス接続便及び稲沢おでかけタクシーの利用状況等について説明を行った。

【主な意見】

- ・ 名鉄バスが運行する稲沢中央線について、これまで順調に利用が増えていたが、令和 7 年 1 1 月の利用者数が減っている。減った原因について、何か見解があれば教えて欲しい。

【会長】

→ 特にはっきりとした原因はわからないので、今後の利用状況を観察していく。

【名鉄バス株式会社】

- ・ コミュニティバス事業では、バス路線の見直しを検討する基準値として 1, 500 円という数値が設定されているが、おでかけタクシー事業も何か見直しに関する基準値を設けているか。

【副会長】

→ おでかけタクシーは、見直しに関する基準値を設けていない。

【総務課】

- ・ コミュニティバス接続便の見直しの基準値はあるか。

【会長】

→ コミュニティバス接続便についても、見直しに関する基準値を設けていない。接続便の市負担額は、2 km未満であれば 1, 320 円、2 km以上であれば 1, 881 円となり、その月に利用された乗り場によって、平均 1, 500 円を超える場合がある。

【総務課】

- ・ 接続便はバス路線が無い地域に対する生活保障のような意味合いがあるため、特に基準を設けていないという理解か。

【会長】

→ その通りである。

【総務課】

報告事項（２）「コミュニティバス運行事業に関する調査」の自由記述欄について

- 資料番号２に基づき、自由記述欄の意見について説明を行った。

【主な意見】

- ・ 今回の意見では、根本から見直さないと難しい改善を要求されている印象だが、その中でも今すぐにやれることもあるかと思う。

例えば、「利用方法がわからない」という意見については、改善の余地があるのでは。ユーチューブやケーブルテレビで発信することで、若い人にも知ってもらえると思う。そうすれば、市の財政的な負担も減るし、さらに今回の要望に対して応えることもできる。

【副会長】

→ 利用方法の案内については、まずは市のホームページをわかりやすくしていきたい。

【総務課】

- ・ 皆さんそれぞれ住んでいるところを改善して欲しいという要望が多く、それを聞いていたらきりが無い話だと思うが、各バス停留所の環境は改善できるなら改善して欲しいと思う。

例えば、高齢者が買い物帰りにバス停で待つ際に、ベンチが置いてあれば非常に助かる。ただ、すべての停留所に予算をかけるのは難しいということもわかる。

他には、停留所付近に自転車を置ける場所を増やしてはどうか。高齢者の中には自転車である程度の距離まで行けるが、病院まで行くのは厳しい人もいる。その場合、停留所までは自転車で行って、バスに乗り換えると非常に助かると思う。

【委員】

→ 停留所の自転車置き場については、各公共施設に自転車置き場を整備しているので、公共施設まで自転車で行き、そこからバスに乗り換えてもらうことができる。

【総務課】

- ・ 公共施設のバス停はどれくらいあるのか。

【委員】

→ 例えば、市役所、支所・市民センター、市民病院などがあり、それぞれに自転車置き場を整備している。

【総務課】

- ・ 市民病院のように「目的地」に自転車置き場があっても意味が無い。

【委員】

→ 路側帯に設置した停留所に自転車置き場を整備するには、歩道スペースの確保や整備費用などの課題があり、現状では難しいと考える。

【総務課】

- ・ 路側帯に設置している停留所は難しいが、歩道上で有効幅員を確保すればベンチとかを設置できると思うので、できるところから検討していただく

けたらと考える。

【会長】

→ 他市の状況も調査しながら、何ができるのか検討していく。

【総務課】

- これまでに利用促進の話が出てきたが、なかなか予算が無いとか、そういった事情があると思う。

当社は社員が作った「バスの乗り方動画」をユーチューブで公開したり、子どもや高齢者向けに「乗り方教室」を開いたり、お金をかけずに地道な活動をしている。すぐにそれが利用増に繋がらないかもしれないが、今後はそういうことも必要になってくるのかなと思う。

弊社では稲沢中央線を運行しているので、何か一緒になって地域の方々にバスの利用を広めていけるような活動ができればと考えている。

【名鉄バス株式会社】

→ 市としても財政上厳しいところがあるため、先ほどご提案いただいた「お金をかけないやり方」は取り入れていきたい。

また、先ほどの「ケーブルテレビの活用」についても、市のシティプロモーション課が作っている「稲沢ふれあい通信」という番組を活用しながら、広くバスのPRをしていきたいと考える。

【総務課】

- 名古屋市内で見かける「バス停の横にあるシェアサイクル」であれば、好きな時に好きな場所に行けるため便利だと思う。稲沢市でも撤去される放置自転車は相当多いと思うが、それらを活用できないかと考える。実際のところ、撤去した自転車はどのように処分しているのか。

【委員】

→ シェアサイクルはとても現代的な提案であり、他市でも実施しているところがあると承知している。

ちなみに、市内では毎年700～800台程度の放置自転車を回収しており、条例に従って売却あるいは処分している。

これらの取り扱いについては、基本的に「他人の所有物」を扱っているという観点から非常に厳しい縛りがあり、シェアサイクルで活用するには厳しい条件をクリアする必要があるものと考えている。

【総務課】

協議事項（１）パブリックコメント募集結果について

- 資料番号３に基づき説明を行い、質疑応答の後、「No. 50」の回答を一部修正することで認められた。

【主な意見】

- ・ コミュニティバス事業などに掛かる費用は、毎年どれぐらいか。

【委員】

→ コミュニティバス事業は、令和元年度から年間約 7, 000 ～ 8, 000 万円あたりで推移しており、おでかけタクシー事業は、令和元年度から右肩上がりに増えている。

令和６年度の決算額は、コミュニティバス事業が 7, 100 万円、おでかけタクシー事業が 4, 800 万円程度である。

【総務課】

- ・ 合わせて 1 億 2, 000 万円程度であり、他市と比較すると、人口規模が近い東海市でも経費は同じくらい掛かっていると思う。ただ、バスの利用者数は稲沢市よりも東海市の方が多い。

そう考えると、もう少し利用者数を増やしたいところである。

【会長】

- ・ 稲沢市の国府宮駅は全国的に有名だが、実際に国府宮駅には活気が無いイメージ。まち全体を活気づけるためには、やはり交通網だと思う。他の予算を削ってでも公共交通にもっと予算を増やして、活気ある稲沢市にして欲しい。

【委員】

- ・ その通りで、「交通まちづくり」をもっと進めていかないといけない。そのためには、都市計画と連動することが重要である。

【会長】

→ まちづくり部として、最優先に進めているのは、国府宮駅周辺の再整備であり、特に朝夕の激しい交通渋滞解消に向け、駅前広場の拡張を第１ステップとして考えている。駅前の賑わい創出に向けては、駅前としてのあるべき姿を名古屋鉄道株式会社とともに考えながら、計画を策定しているところである。

また今年度から２か年かけて立地適正化計画を策定しており、これ

は、持続可能な都市構造の再構築に向け、居住機能や医療・福祉・商業などの都市機能を計画的に誘導していくため、概ね20年後の都市の姿を展望して策定する計画である。策定にあたっては、交通ネットワークの一翼を担うコミュニティバスなどの地域公共交通は非常に重要な役割を担っていることから、今後も交通分野とは連携しながら進めていかねばならないと考えている。

【稲沢市まちづくり部長】

- ・ 東海市はコンパクトな市なので、バス路線を考えやすいところがある。それに比べて、稲沢市は住宅が点在しており、バス路線を考えるのが非常に難しいと思う。

【会長】

- ・ パブリックコメント募集結果の「No. 26」で「バスロケーションシステムの導入を検討する」と答えている。「No. 50」でもこの答えを使えるのではないかな。

バスが遅れてくることをお知らせできれば、利用者の不満も減るのではないかなと思う。

【副会長】

→ 「No. 50」については、バスロケーションシステムも含めた回答に修正する。

【総務課】

- ・ バスロケーションシステムを導入することで、バスの遅延状況もわかるし、それを活用した分析もできるので、非常に良いと思う。
バス利用者の不安の解消につながるため、ぜひお願いしたい。

【会長】

- ・ コミュニティバス車内での事故件数は年間どれくらいあるのか。利用者は高齢者が多いので、転倒することもあると思うが。

【委員】

→ 車内で事故があった場合は、運行事業者から書面にて報告をもらっており、昨年1件報告があった。

乗務員も安全運転を心がけており、多く発生している状況ではない。

【総務課】

協議事項（２）「稲沢市コミュニティバス運行事業計画」変更について

- 資料番号４に基づき説明を行い、質疑応答の後、事務局案のとおり認められた。

【主な意見】

- ・ バスの乗務員不足について、現在どのような状況か教えて欲しい。
また、乗務員が増えれば、バスの運行台数も増えるのか。

【委員】

→ 弊社だけでなく、全国のバスやタクシー事業者で乗務員不足が問題となっている。弊社としても乗務員を確保するため、愛知県と連携して外国人を採用したり、ハードルが高い大型２種免許ではなく、普通２種免許でも運行できる方法がないか検討したりしている。

また、自治体にも協力してもらい、「運転体験会」などを実施することもある。

【名鉄バス株式会社】

→ 弊社は稲沢市から委託を受けてコミュニティバスを運行しているため、まずは予算の確保が前提となる。

近年人件費が上がっている中で、乗務員を増やせば、その分さらに経費が掛かるため、どこまで予算額を増やせるのかという話になってくる。弊社では、今年度に乗務員の時給を上げて待遇を改善している。さらに、正社員の採用も進めており、コミュニティバスの乗務員の数はできる限り増やそうと努力はしているが、やはり他の職種と比べると賃金が安い
ため、なかなか思うようにいかない状況である。

あと、人が増えればバスの運行台数も増えるのかという質問については、追加車両の購入費・維持費が掛かるので、やはりこれもコミュニティバスの総事業費が前提の話となる。

【名鉄西部交通株式会社】

- ・ 外国人の採用は、コミュニケーションの問題があるため、なかなか難しいと聞いている。

ただ、外国人が運転手になれる道は一応できているので、これから増えていくのではないかな。

【会長】

- ・ 今回の路線変更に係る新たな時刻表については、どのように周知するのかスケジュールを教えて欲しい。

【委員】

→ 今後のスケジュールとしては、広報いなざわ 3 月号にて今回の変更を周知する。

また、2 月下旬に市のホームページで新しい時刻表を掲載し、紙媒体の「稲沢市バス総合時刻表」については、3 月中旬以降に各支所・市民センター、量販店、駅などに設置する予定である。

【総務課】

- ・ 市のホームページへの掲載は、2 月上旬ぐらいにできないか。

【会長】

→ できる限り早く更新する。

【総務課】

- ・ 下津・大里線のバス車内も活用して周知すると良いと思う。

【会長】

→ 承知した。

【総務課】

その他

- 稲沢中央線のバス停留所「稲沢町前田」が、令和 8 年 4 月 1 日から「名古屋文理大学前」に名称変更する。

【名鉄バス株式会社】

以上で閉会した。